
秋づまり大根の形質の相関について

川崎重治・齊藤久男

(佐賀縣農業試験場)

十字十字科蔬菜はかなりの純度をもつものでも各種形質について個体間に相当な変異がみられるが、大根の葉部と根部の間に相関関係が存在すれば、間引き技術或は母本選抜上極めて意義が深いので、秋づまり大根の完熟母本について予備的な調査を行つた。

根部が太くて長い個体は草勢が強く、葉柄も大きくて白く扁平であり、小葉は大きくて巾広く、密に着生する頻度が高い。逆に根部が細く短い個体は前記6形質がそれぞれ逆の傾向が強い。中間に位するものにこれらの形質は混在するか中間を示した。
